

防災気象情報の読み方

段階的に発表される防災気象情報と対応する行動

警戒
レベル

5

命の危険 直ちに安全確保！
すでに安全な行動ができず、命が危険な状況。今いる場所より安全な場所へ直ちに移動する。

住民がとるべき行動

4

危険な場所から全員避難
自治体からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくても、各種情報から自ら避難の判断をする。
台風などにより暴風雨が予想される場合は、暴風雨になる前に避難を完了しておく。

3

危険な場所から高齢者等は避難
自治体からの高齢者等避難の発令に留意し、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備したり、自主的に避難したりする。

2

自らの避難行動を確認
・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認する。
・暴風、大雨に対して家の備えをする。
・避難先、避難方法、避難経路を確認する。

1

災害への心構えを高める。
非常用持ち出し品や非常用備蓄品等を確認し、不足があれば補充する。

気象庁ホームページ参照

市町村の対応

緊急安全確保
※必ず発令される情報ではない

気象庁等の情報

氾濫発生情報
災害切迫
大雨特別警戒

キキクル

警戒レベル	5	4	3	2	1
気象庁等の情報	大雨特別警戒 災害切迫 氾濫発生情報	危険 氾濫 危険情報	警戒 氾濫 警戒情報	注意 氾濫 注意情報	大雨注意報 洪水注意報 早期注意情報 (警戒の可能性)
市町村の対応	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	心構えを一段高める ・職員との連絡体制を確認
気象状況	数十年に一度の大雨	大雨の数時間～2時間程度前	大雨の数時間前	大雨の数日～約1日前	

〈警戒レベル4までに必ず避難！〉